

茨城県中学校体育連盟主催大会
(総体・新人)における
感染拡大予防のための運営方針



【Ver.3／R04.5.20】

茨城県中学校体育連盟

～ 目 次 ～

1 茨城県中体連主催大会における感染拡大予防のための運営方針（全競技共通）

- (1) はじめに
- (2) 大会実施にあたっての基本的な考え方について
- (3) 開催にあたっての留意事項【主催者（各専門部）の対応】
- (4) 開催にあたっての留意事項【参加者（生徒・指導者等）の対応】
- (5) 大会実施時の体調不良者発生時の対応

2 茨城県中体連主催における感染拡大予防のための運営方針（競技別）

- (1) 陸上競技
- (2) 水泳競技
- (3) 体操
- (4) 新体操
- (5) バスケットボール
- (6) バレーボール
- (7) ソフトテニス
- (8) ハンドボール
- (9) サッカー
- (10) ソフトボール
- (11) 軟式野球
- (12) 卓球
- (13) 柔道
- (14) 剣道
- (15) 相撲
- (16) 弓道
- (17) バドミントン
- (18) レスリング

3 その他

- (1) 感染予防対策マニュアル
- (2) 別紙一覧 大会参加までの流れ（フロー図）
- (3) 別紙1 健康チェック表及び参加同意書（個人用）
- (4) 別紙2 健康チェック表及び参加同意書（学校用）
- (5) 別紙3 行動記録表
- (6) 別紙4 健康チェック表及び参加同意書（団体競技保護者用）
- (7) 別紙5 健康チェック表及び参加同意書（個人競技保護者用）
- (8) 別紙6 健康チェック表及び参加同意書（その他の関係者用）
- (9) 会場内のポスター

1 茨城県中体連主催大会における感染拡大予防のための運営方針（全競技共通）

(1) はじめに

本ガイドラインは、「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル～「学校の新しい生活様式」～」（文部科学省）、を踏まえ、「社会体育施設の再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」（スポーツ庁）、「スポーツイベントの再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」（日本スポーツ協会・日本障がい者スポーツ協会）、令和4年度（公財）日本中学校体育連盟全国中学校体育大会実施上のCOVID-19感染拡大予防ガイドライン（（公財）日本中学校体育連盟）等を踏まえて、現段階で得られている知見等に基づいて作成しています。

今後の知見の集積及び、新型コロナウイルスの感染状況により、随時見直すことがあり得ることにご留意ください。

(2) 大会実施にあたっての基本的な考え方について

- ① 感染源を絶つ
- ② 感染防止の3つの基本 ○ 身体的距離の確保 ○ マスクの着用 ○ 手洗い等の徹底
- ③ 三密（密閉空間・密集場所・密接場面）の回避
- ④ 安全な活動環境の確保

(3) 開催にあたっての留意事項 【主催者（各競技専門部）の対応】

留意事項	主催者（各競技専門部等）の対応
全般的な事項	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各競技団体からの競技特性に応じたガイドラインを参考に、感染拡大予防のための必要な取組を実施する。 ○ 会場内の人数が増えて密にならぬよう、関係者の人数を制限する。各競技専門部の運営方針を基準に十分な間隔をとれる人数となるよう配慮する。 ○ 保護者の観戦については、原則選手1名につき保護者2名までとする。ただし、感染状況の悪化や、競技の特性により会場が密になる場合は、無観客とすることがある。 ○ 参加者がマスクを準備しているか確認するとともに、運動時以外においてはマスクの着用を求める。運動中のマスク着用は参加者等の判断によるものとするが、マスクを着用して運動を行った場合は、熱中症のリスクが高くなることを周知する。 ○ 大会前後のミーティング等においても、三つの密を避ける。 ○ 大会における遵守事項を掲示し、換気設備を適切に運転し十分な換気を行うなど、会場内を定期的に巡回・確認する。 ○ 万が一感染が発生した場合に備え、参加校から提出された「別紙2：健康チェック表（学校用）」は、少なくとも1月以上適切に管理する。また選手以外（保護者・委嘱審判・写真業者等）から提出された「別紙4」「別紙5」「別紙6」も同様とする。 ○ 大会開催前後における地域の感染拡大状況について注視し、開催自治体の衛生部局への連絡等について事前に検討しておく。 ○ 大会に参加した関係者は全員「いばらきアマビエちゃん」に登録する。専門部は「いばらきアマビエちゃん」の登録について、会場と確認し、プログラムに掲載する等、登録を呼びかける。 ○ 大会役員の中で、コロナ対応係をおく。コロナ対応係は、会場への呼びかけ、物品の消毒、感染の疑いのある事例が発生した場合の対応等を中心となって行う。 ○ 大会役員の昼食については、感染のリスクが高くなることを意識し、大人数で食べない、換気の悪い場所で食べない等、十分に留意する。 ○ 感染症対策は運営する役員全員で実施する。各専門部役員の中で、感染対策のチーフをおく。チーフは、消毒の分担、消毒液の設置、ポスターの掲示、選手の誘導、換気の指示、会場へのアナウンス等、感染予防について計画し、中心となって活動する。 ○ 生徒は大会2週間前から体調管理を徹底する。大会当日に「別紙1」を記載し、学校はそれを取りまとめ「別紙2」を本部に提出する。また、団体競技保護者は「別紙4」、個人競技保護者は「別紙5」、その他の関係者は「別紙6」の提出を求める。 ○ 大会当日に以下のア～オまでの5項目のうち1項目でも当てはまった顧問・生徒は参加を認めない。 <ul style="list-style-type: none"> ア 平熱を超える発熱（概ね37.5℃以上）がある イ 咳、のどの痛みなど風邪の症状がある ウ だるさ（倦怠感）、息苦しさ（呼吸困難）がある エ 嗅覚や味覚の異常がある オ 体が重く感じる、疲れやすい症状がある
参加募集時の対応	<ul style="list-style-type: none"> ○ 感染拡大予防のために参加者が遵守すべき事項を明確にし、協力を求める。また、遵守できない参加者には、大会参加を取り消したり、途中退場を求めたりすることがあり得ることを周知する。 ○ 参加するチームの顧問に「別紙2：健康チェック表（学校用）」の提出を求める。万が一感染が発生した場合に備え、少なくとも1月以上、適切に管理する。

準備品	○例・・・アルコール等の手指消毒剤（受付に設置）、用具等の消毒剤、ハンドソープ 拭き取り用布巾、ビニール袋や手袋、体温計、予備用マスク 等
当日の参加受付時の対応	○「別紙2：健康チェック表及び参加同意書（学校用）」について、内容の確認を行う。「別紙1」：健康チェック表及び参加同意書（個人用）の確認や提出は求めない。 ○並ぶ時等は、参加者の間隔は、できるだけ2mを目安に（最低1m）保てるようにする。 ○保護者や業者等の入場の際は、「別紙4」「別紙5」「別紙6」のいずれかを提出する。
競技運営	開閉会式 ○原則として実施しない。（実施する場合には、人数削減や時間短縮を工夫） ○指示伝言がある場合は、マイクや拡声器を利用するなど工夫する。
	競技実施中 ○試合時間の短縮や感染症対策に係る独自ルールを工夫する。 【感染症対策に係る工夫の例】 ・ベンチや待機場所での密集を避け、人と人の間隔は、できるだけ2mを目安に（最低1m）確保する。 ・競技中の握手やハイタッチを控える。 ・円陣を組む時は間隔を確保し、密集を避ける。 ・唾や痰を吐くことは極力行わない。
	応援等 ○応援者の間隔は、できるだけ2mを目安に（最低1m）確保するよう周知する。 ○大きな声での会話や、声援はしないよう周知する。
	事故対応 ○事前に医療体制を確保するとともに、当日の事故対応については医療機関と連携し速やかに対応する。 ○状況の把握と対応に努め、場合によっては大会の中止や延期を決定する。
大会開催後	○大会終了後2週間のうちに、参加者から新型コロナウイルス感染症に感染したとの報告があった場合や地域の生活圏において、感染拡大の可能性が報告された場合、競技部及び開催自治体の衛生部局に直ちに報告する。 ○大会終了後2週間のうちに、参加者から新型コロナウイルス感染症に感染したとの報告があった場合、参加者から「別紙3：行動記録表」を速やかに回収する。

(4) 開催にあたっての留意事項 【参加者（生徒・指導者等）の対応】

留意事項	参加者（生徒・指導者等）の対応
参加募集時の対応	○各学校は、生徒・保護者の意見を尊重した上で参加の有無を検討する。 ○各学校は、大会の感染症対策を確認するとともに、生徒等にも周知する。 ○生徒は、大会当日に、「別紙1」：健康チェック表及び参加同意書（個人用）を各学校の顧問に提出する。顧問は生徒等から提出された「別紙1」：健康チェック表及び参加同意書（個人用）」で健康状態を確認し、少なくとも1月以上、適切に管理する。 ○前記の、ア～オまでの5項目のうち、1項目でも当てはまった生徒は参加を認めない。 ○顧問は、大会当日に参加生徒や外部コーチ等の健康について確認し、「別紙2：健康チェック表（学校用）」を、大会本部に提出する。 ○会場内の人数が増えて密にならぬよう、関係者の人数を制限する。各競技団体運営方針を基準に十分な間隔をとれる人数となるよう配慮する。 ○保護者にも本運営方針について理解を求め、受付にて「別紙4」「別紙5」の提出をしてから入場できるように、保護者等との連絡体制を整える。
準備品	○学校で用意するもの・・・用具等の消毒剤、拭き取り用布巾、予備用マスク 等 ○各自が用意するもの・・・マスク、タオル、ゴミ持ち帰り用ビニール袋 等
遵守すべき事項	○マスクの着用（スポーツの実施中は、マスクの着用はしなくてもよい。） ○こまめな換気と手洗いや手指消毒を行う。 ○更衣室、休憩・待機スペースでの使用留意事項を遵守する。 ○タオルなどを共有しない。 ○飲食時は他人と取り分けず、回し飲みをしない。また、飲みきれなかったスポーツドリンク等を指定場所以外に捨てない。 ○全てのゴミは各自で持ち帰る。
競技実施中	○主催者が決定した感染症対策における競技運営について遵守する。 ○けがや事故が発生した場合、ただちに顧問等から競技本部に報告し適切な対応をする。 ○応援者の間隔は、できるだけ2mを目安に（最低1m）確保する。 ○大きな声での会話や、声援はしない。
大会開催後	○大会開催後も自身の体調管理に努め、体調の異変があった場合は、医療機関や保健所に相談した上で適切に対応し、参加校から大会本部等に報告する。 ○大会終了後2週間のうちに、大会に参加した関係者が陽性と判明した場合、参加者は「別紙3：行動記録表」を速やかに提出する。顧問がとりまとめ、本部へ提出する。 「別紙3：行動記録表」は、少なくとも1月以上顧問が保管する。

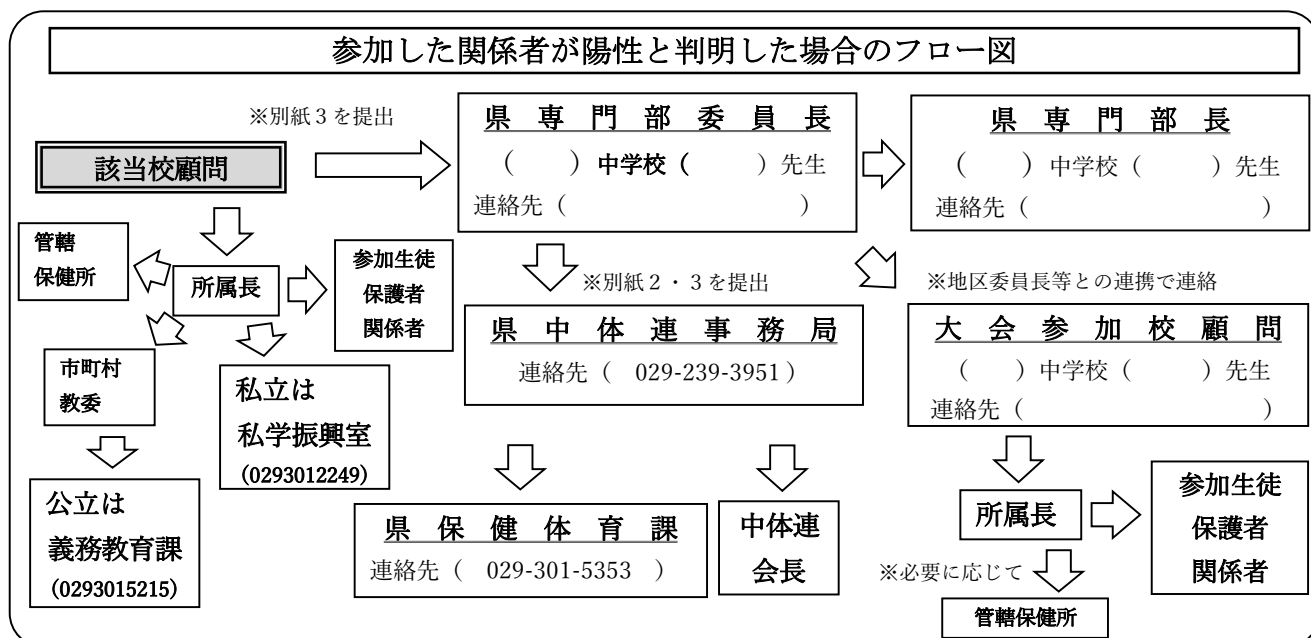
(5) 大会実施時の体調不良者発生時の対応

- ① 場時、受付時での体調不良者発生時の対応について
 - ・ 確認ポイントにおいて症状や記入の不備がある場合は、入場、受付を取りやめる。記入の不備については、不足項目の確認（検温）を行う。
 - ・ 体調不良者（例：発熱、咳、喉の痛み、倦怠感、味覚嗅覚の異常など）または症状が確認された者については、大会本部役員等に報告の上、帰宅（または帰宿）を促し、各自医療機関を受診するよう伝える。
- ② 入場後、競技会期間中の体調不良者発生時の対応について
 - ・ チームにおいて、体調不良者（発熱、咳、喉の痛み、倦怠感、味覚嗅覚の異常など）が確認された場合は、大会本部役員等に報告を行う。
 - ・ 顧問は、状況を大会本部に報告し、緊急性も含め、大会本部の指示に従う。
 - ・ 診察の結果、新型コロナウイルス感染が疑われる場合は、速やかに医療機関や保健所の指示に従い、適切に対応する。
- ③ 症状があり帰宅を促す際の対象者への案内
 - ・ 体調記録表に挙げられた項目の症状が4日以上続く場合は、必ず最寄りの保健所、診療所等報告相談する。
 - ・ 症状が続かなくとも、弱い症状だと思っても同様、最寄りの保健所、診療所等に報告相談する。
 - ・ 感染の疑いがある参加者を搬送した場合、または、医師、看護師等の処置を受けた場合、速やかに中体連事務局に報告する。事後1週間以内に、様式16「事故報告書」を提出する。
 - ・ 大会終了後も、体調の異変があった場合や新型コロナウイルスの感染が判明した場合は、参加校から大会本部へ速やかに連絡する。

茨城県庁内新型コロナウイルス相談窓口： 電話 029-301-3200
 茨城県中学校体育連盟事務局： 電話 029-239-3951

(6) 大会後2週間のうちに参加した関係者が陽性と判明した場合の対応

- ① 各学校の対応について
 - ・ 大会に参加した関係者が、大会後2週間のうちに陽性と診断された場合、学校は競技専門部委員長へすぐに連絡し、下記について報告する。保健所等には別途連絡する。
 - ※陽性者、対戦相手（校）、参加日時、滞在時間、その他濃厚接触者の疑いのある者等
 - ※陽性者のプライバシーについては、十分に配慮すること。
 - ・ 顧問は、各校で保管している「別紙3」を専門部へ提出する。（コピー可）
- ② 各専門部の対応について
 - ・ 各専門部委員長は、学校から報告を受け次第、速やかに部長及び県中体連事務局に連絡する。
 - ・ 各専門部委員長は、各校から提出のあった「別紙3」に加え、出場校すべての「別紙2」を県中体連に提出する。重要書類のため、できるだけ持参する。（コピー可）
 - ・ 必要に応じて、濃厚接触の可能性のある学校に対し、「別紙3」の提出を求める。



2 茨城県中体連主催における感染拡大予防のための運営方針（競技別）

(1) 陸上競技

留意事項	具体的な対策
競技前	<ul style="list-style-type: none"> ○ 開会式については、縮小して実施する。感染状況によっては中止する。 ○ 競技上の注意事項については、顧問から生徒に確実に伝えることとする。 ○ ウォーミングアップは個別（リレーは除く）に行う。付き添いは原則禁止とする。 ○ 滞在時間短縮のため競技者（チーム）紹介を簡略化する。 ○ 中長距離レースについては、グループスタートで実施したり、1組の人数を減らしたりするなどスタート地点での密を防ぐ工夫をする。 ○ フィールド競技の出場者が多い場合には、組を分けて実施する。 ○ 投てき器具を共用禁止にする必要はない。終了後の手洗い・洗顔の徹底を呼び掛ける。また、試技の前後に手指の消毒を実施し、競技中に不用意に手で顔を触らぬように注意を促す。跳躍種目におけるマットや砂場、棒高跳ポールについても同様である。 ○ 滑り止め（炭酸マグネシウム）利用については、共用しない方法で実施する。競技者が容器に手を入れて着ける形ではなく、競技役員や補助員から適量を受け取る方法や、小分けして競技者に渡す方法、競技者の持ち込みも可とする。 ○ 招集方法を工夫し3密を避ける。
競技中	<ul style="list-style-type: none"> ○ 競技者にレース中のマスク着用を義務付ける必要はない。招集中・移動中・待機中はマスクを着用するように呼び掛ける。（マスク着用による熱中症に気をつける。） ○ 競技者待機所に消毒液を準備し、こまめに手指の消毒実施を呼びかける。 ○ 試技・レースを待つ際には、他選手との間は2m以上離れて待機する。 ○ 声を出しての応援は禁止とする。また、観戦の際にはソーシャルディスタンスを保つようアナウンス等で呼びかけをする。
競技後	<ul style="list-style-type: none"> ○ レース（競技）終了後には、手洗い・うがい・洗顔・手指の消毒をする。 ○ 競技終了後やバス乗車時等にシューズ（スパイク）底の消毒等をする。 ○ 表彰については感染防止対策を講じて実施する。対策を十分にできない場合は行わない。実施しない場合は、アナウンスを正式発表とし、発表後30分を目安に学校受付（TIC）に取りに行く。学校対抗についても同様とする。 ○ 閉会式については縮小して実施する。感染状況によっては実施しない。
競技会参加者に対して事前通知すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 参加者に「健康チェック表及び参加同意書（個人用）と（学校用）」の提出を求める。 ○ 大会会場への来場者（生徒・保護者）を制限する。 ※原則エントリー選手（主催者から委嘱された補助員生徒を除く） ○ 出場選手以外（補助員等）の生徒は競技場での練習は不可とする。 ○ バス乗降時や各校ベンチ等で使用する手指等の消毒液については各校で準備する。 ○ 招集、競技以外での他校の生徒との接触はしない。 ○ 感染疑い等がある際の参加の可否については、県中体連運営方針及び大会申し合わせ事項に準じて各校で判断する。
競技役員委嘱に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 競技役員に対し健康チェック表を送付し、提出を義務付ける。提出していない方の参加を認めない。 ※提出先→大会主催者（最低1カ月保存） ○ 必要最小限の競技役員で競技会を運営する。（65歳以上の競技役員には原則委嘱しない） ○ 感染症が重症化しやすい基礎疾患のある者（糖尿病、心不全、呼吸器疾患、高血圧、透析を受けている者等）には、競技役員委嘱の連絡の際に辞退するよう促す。
競技運営に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ トラック種目は最小限のラウンドのみの実施とし、スタート待機及び招集時間等を分割し密集を防ぐタイムテーブルを設定する。 ○ 3密回避行動、マスクの着用、眼からの飛沫感染を防ぐための眼鏡またはサングラス、使い捨ての手袋を緊急時にすぐに着けられるように携帯する。 ○ 給水の競技役員・補助員は競技開始前に手指を消毒し、マスク、手袋、フェイスシールド等を着用する。（給水所にスポンジは使用しない） ○ 招集所やフィールド競技の呼び出しの際には、拡声器等を使用する。（その都度消毒を行い、使いまわしに注意する） ○ 用器具、通信機器、審判用具、計測機器、情報端末、その他の共用物の使用後は手洗い・手指の消毒等を欠かさない。 ○ ハードルの設置については、手指消毒等を行った競技役員・生徒補助員で行い、ハードル撤収後には、ハードルも消毒する。（使い捨ての手袋を準備してもよい。） ○ 走幅跳や棒高跳等で使用する助走マークについては、使用後に消毒を行う。 ○ 競技中・フィニッシュ後に倒れ込んだ競技者へのケアは、防護体制（マスク、フェイスシールド、ゴーグル、タオル、使い捨て手袋など）を整えたスタッフで対応する。ゴーグル（サングラス）はその都度アルコール消毒をする。 ○ 記録発表の工夫をする。掲示板前に人だかりができないように掲示場所の分散化やWebを活用した発表をする。

	<ul style="list-style-type: none"> ○ 表彰については、単に中止にするというだけでなく、密集状態にならないように、別会場で行ったり、時間を分けて行ったりすることが望ましい。その際、表彰を見に来た応援生徒等の整理誘導を行い、3密や不要な接触を防ぐ。 ○ 学校に出入りする写真業者については、1校につき1名までとし、各校からの事前通知やHP等を通じて取材の事前申請を受け付けるなどの対応をとる。協力事項として、健康チェック表を各校から配布し、主催者と学校への提出を義務付けるとともに、マスクの着用等の感染予防を心がけてもらう。（委託業者としてビブスまたは腕章を着用してもらう。）感染状況によっては立ち入りを禁止とする。
会場施設管理に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 入退場口を限定し、手指の消毒液を準備する。 ○ 主催者は、トイレ・手洗い場等に石鹸等の設置をする。 ○ 役員控室・諸室等の室内換気を徹底する。（貴重品管理に十分に注意する） ○ 競技役員控室は十分な間隔をとることができるように座席を配置する。 ○ シャワーの使用は原則禁止とし、更衣室使用の際には換気を十分に行うと共に、入室する人数を制限する。 ○ フィールド種目や招集所等の待機テント設営時には、ソーシャルディスタンスを確保できるようにテント配置を工夫し、ベンチに×印などのマークを付ける。 ○ 発熱者等が出た場合の隔離室またはテントを準備する。（適切な部屋が確保できない場合は、飛沫感染防止可能なカーテン、パーテーションなどで仕切ったコーナーを用意する） ○ 多くの者が接触する可能性がある箇所の消毒頻度を増やす。（施設所有者・管理者に確認すること） ○ 使用するトイレは主催者が指定（解錠）した場所のみを使用し、使用の前後に手指の消毒を行う。主催者は大会開始前と大会終了後に消毒を行う。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ○ 大会要項及び申込データファイル、各種様式の入手先 <p>※県中体連陸上専門部HPまたは茨城陸協HPからダウンロード</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県専門部HP URL【 https://jaaf-ibaraki.com 】 ・茨城陸協HP URL【 https://ibariku.com 】